

ごあいさつ



静岡市は、古くは大御所時代の徳川家康公の城下町として独自の文化や産業を育み、日本の中核都市として発展を続けてきました。また、東西交通の大動脈である東海道の流通や国際貿易の拠点である清水港などの交易は、我が国の経済において重要な役割を担ってきました。

近年、全国的な社会・経済情勢から、人口減少や少子高齢化、市民ニーズ・ライフスタイルの多様化など、本市を取り巻く環境は、変革のときを迎えています。そのような背景から、「世界に輝く静岡」の実現を目指し、第3次静岡市総合計画に掲げる「歴史文化のまち」、「健康長寿のまち」の実現に向け、誰もが安心・安全で、より快適に暮らし続けられる、成熟した持続可能な都市へとしていく必要があります。

そこで、本市の都市づくりの基本的な方針となる「静岡市都市計画マスタープラン」を改訂しました。

今回の改訂では、時代認識を「成長・拡大」から「成熟・持続可能」へと転換し、「まちづくりはひとづくり」であることに着目し、“人との交流がまちをつくり、人とのつながりがまちを育てる時代に合ったまちづくり”を基本理念としました。

この基本理念の実現に向け、第3次静岡市総合計画における都市機能を充実するための「都市構造軸」の考え方を踏まえ、「集約連携型都市構造」を目指すための方針や取組みの考え方などを示しています。

住む人が誇りとやすらぎを感じ、訪れる人が憧れを抱く、魅力的で風格のある都市とするために、市民、事業者、関係団体、行政が連携し、協働のまちづくりに取組んでまいりますので、本プランの理念や方針に対するご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、改訂にあたり静岡市都市計画マスタープラン策定懇話会にて、活発な意見交換をいただいた委員の方々をはじめ、改訂案へ様々なご意見、ご提案をいただいた市民の皆さまに心より御礼申し上げます。

平成 28 年 3 月

静岡市長 田辺 信宏